

暑さに負けず!!



小池報

K O I K E N E W S

1 0 月 5 日 水 曜 日

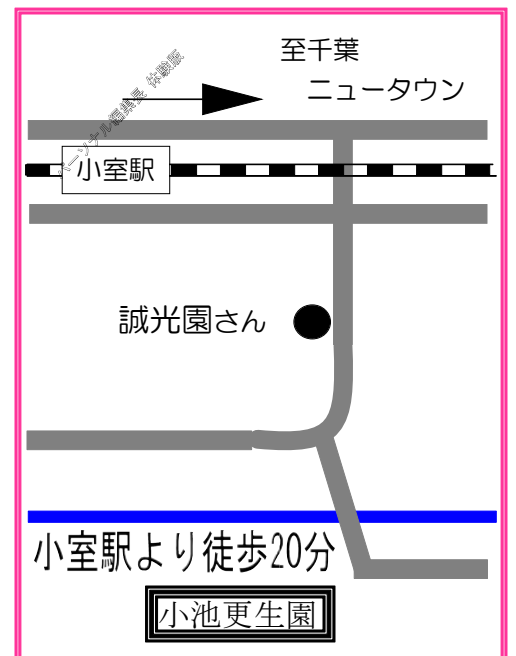
発行：社会福祉法人心聖会
小池更生園 広報委員
発行責任者：吉村 優児
〒276-0001 千葉県八千代市小池393
TEL 047(488)8222
FAX 047(488)8229
URL <http://www.e-shinseikai.or.jp/>

経営理念

わたしたちは、利用者の幸せ、利用者家族の幸せ、地域住民の幸せ、そして、これらを支えることを職員の幸せとして事業に取り組みます。

- ・障害のある人の人格と個性を尊重します。
- ・障害のある人が安心して豊かな地域生活を営めるよう支援します。
- ・障害のある人の喜びや悲しみを共感できる職員であることに努めます。

アクセスマップ



謹んで、このたびの東日本大震災で及び台風15号で被災された方々とそのご家族の皆様にご心よりお見舞い申し上げます。また、皆様の安全と被災地の一日も早い復旧、復興をお祈り申し上げます。



目次

- 1 ページ：巻頭挨拶
- 2 ページ：作業班紹介（生活介護班）
- 3 ページ：作業班紹介（自立訓練班）
- 4 ページ：近況報告、編集後記

先日、日本を縦断した台風十五号は、各地に甚大な被害をもたらしました。三月に起きた大震災の傷もまだまだ癒えない被災地においても追い討ちをかけるかのようなこのニュースに、我々も息をのみました。これ以上の被害が出ないことを、ただただ祈るばかりです。

このような状況の中、九月に入っても真夏のような暑さが残る日々が続いていましたが、やっと、朝晩は涼しくなり、秋の気配が漂ってきました。

今年の夏は、日本全国で節電が求められていましたが、小池更生園でも十五%の節電目標をたて、利用者の皆様の健康を最優先しながらも、二十%以上の節電を達成することが出来ました。

今回の第十五号は暑かった夏も元一杯に活動を行った利用者の皆様の各作業班を紹介しています。どうぞご覧になって下さい。

なかまたち

生活介護班は「すみれ班」「ひまわり班」「のびろ班」の3班で構成されています。体力増進の為の運動や手工芸などの作業を行っています。

すみれ班



本年度のすみれ班は男性利用者9名、女性利用者6名の計15名。職員は男性2名、女性3名で日々、作業活動を行っています。主な作業内容は、缶処理と地域清掃です。地域清掃では、一時間ほど園の周辺を歩きながらゴミ拾いを行っています。缶処理は室内でアルミ缶をつぶしリサイクルする取り組みを行っています。経験者から、初めて取り組む方まで、個性豊かなメンバーですがようやく作業にも慣れてきたところです。

ひまわり班

私たちは今年から新しく紙すきを始めました。紙すきは月・水・金曜日の週3日行っています。今は牛乳パックを再利用し、はがきを作っています。日々試行錯誤を繰り返して、より素敵な作品が作れるように頑張っていくので、よろしくお願いします。地域清掃は火・木曜日にみんなでゴミ袋を持ち、近隣のゴミを拾っています。地域清掃を始めたおかげか…最近は田んぼのゴミが大分減ってきました！！ひまわり班は男性利用者9名、女性利用者7名、計16名で作業していますが、毎日賑やかに元気に活動しています。紙すきに地域清掃、どちらも地球環境の事を思った作業だと誇りに思い、がんばっています！今後もみんなで元気いっぱい取り組んでいきたいと思ひます。



私たち、のびろ班は男性利用者7名、女性利用者8名の合計15名で活動しています。職員は男性2名女性3名で支援にあたっています。利用者の皆さんは20代の若い方から、古希を迎えた方まで幅広い年代の皆さんで活動しています。

作業内容はラジオ体操、園庭（食堂周り）歩行、学習・勉強を順番で行っています。ラジオ体操は作業開始の挨拶後に身体を動かす目的として利用者、職員全員参加して行っています。その後、晴天時は園庭に移動し職員が手をつないで歩行をしたり、自立歩行が可能な方は自分のペースで歩行しています。天候が優れない場合は食堂周りを歩いています。園庭、食堂周りの歩行は利用者全員ノルマ3周を目標にして取り組んでいます。歩行と学習・勉強時間の間にトイレ休憩と利用者の皆さんの疲れを癒してもらうためドリンクタイムの時間を設けています。このドリンクタイムは利用者の皆さんが一番楽しみにしている時間です。勉強・学習時間は、当日の利用者の皆さんの様子を見て、絵画やパズルを行っています。



のびろ班

自立支援班は「受注班」「生活班」「みそ班」「農耕班」の4班で構成されています。地域移行に向けた様々な作業やバザー販売等の地域活動を行っています。

小池の

生活班 受注班

昨年度から利用者4名が増え、男性7名・女性4名、計11名。職員も1名増え利用者・職員合わせて14名で活動しています。午前中は洗濯物仕分け、午後は食堂掃除を中心に行っています。



洗濯物仕分けでは、男性の衣類は各部屋ごとに、女性の衣類は各棟ごとに分けています。畳むのが上手な人、名前を見てカゴに入れるのが上手な人、大きいシート類を上手に畳む人、みんなで協力してやっています。食堂掃除では、テーブル拭き、床拭き、窓拭き、廊下のモップ掛けを手分けして行っています。また作業が早く終わった時は、気分転換に外歩行に行くこともあります。

1人1人が出来る事を行い、助け合いながら、30度近くある洗濯場でがんばっています。



本年度は男性利用者7名、女性利用者12名、職員6名の合計25名で作業を行っています。作業内容はいろんな書店さんの手提げビニール袋や紙袋にいろんな企業の宣伝広告(チラシ)をその

袋に1枚1枚丁寧にに入れていくことです。1日に7,000~8,000枚くらいの袋を完全手作業で指定された納期に間に合うようにと利用者・職員が一丸となって取り組んでいます。ほぼ毎週訪れる納期に間に合った達成感を何より利用者さん達が感じてくれていることが職員の喜びです。もうひとつの柱がビーズ作品作りです。素晴らしいです。作品もさることながら、取り組む姿勢・集中力は圧巻そのものです。是非、平日のご来園の際にはお立ち寄りください。

みそ班 農耕班

本年度は昨年とほぼ同じ利用者の方で男性3名、女性5名の合計8名で活動しています。今年も昨年に引き続き利用者と



職員が力を合わせ協力し、みそ作り作業に励んでいます。3月に起きた大震災の影響も少なからず受け、みその活動が出来ない時期がありましたが、少しずつ遅れを取り戻せるよう頑張っています。品質が落ちることのないよう一つひとつ丁寧に作っていますので、今後とも小池の味噌をよろしくお願い致します。売上げが増えることで利用者の方の達成感に繋げられるよう取り組んでいきます。

農耕班は男性6名女性2名の合計8名の利用者で作業を行っています。職員は生活支援員が3名、作業支援員が1名で活動の支援を行っています。作業内容は昨年に引き続き、真木野農園で



の畑作を行っています。畑では、ジャガイモや里芋、サツマイモといったイモ類を中心にピーマン、ナス、オクラ、はつか大根等の野菜の栽培を行っています。利用者の方々は美味しい野菜が出来るように一生懸命草むしりや水撒きを行っています。秋祭りや年末お楽しみ会などの行事やイオンバザーで販売いたしておりますので是非、ご賞味下さい。

鴨川五人衆、ここに集結!

派遣メンバー無事帰還



九月二十日現在でも千葉県立鴨川青年の家では、児童からお年寄りまで、三百人近くの知的障害者の皆様が避難生活を送っています。

福島第一原発の近くに施設があった複数の施設の利用者が、職員と共に鴨川青年の家へ避難してきたのが、四月上旬のこと。

この地に落ち着くまでは、地震が発生した三月十一日以降、着の身着のまま避難し、避難所を転々としていたそうです。

現在、支援する職員の不足を補うために、関東の複数の施設から職員を派遣しています。

小池更生園でも六月から七月にかけて五名の男性職員を派遣しました。また、六月二日には職員総出で壮行会を行いました。

派遣された五人は小池更生園に戻ってきた時、一廻りも二廻りも大きくなっていました。他の施設の職員や福島から避難されてきた利用者と接することで学ぶことが大いにあったと帰園後に語っていました。

派遣メンバー紹介
(右から)

- 海老原 淳一さん
- 伊藤 健太さん
- 三人 良太さん
- 古川 大輔さん
- 関口 淳さん



編集後記

雨ニモマケズ
風ニモマケズ
雪ニモ夏ノ暑サニモマケヌ
丈夫ナカラダヲモチ
慾ハナク
決シテ瞋ラズ
イツモシズカニワラツテイル

これは有名な宮沢賢治の「ア
メニモマケズ」の冒頭文です
が、自分もこのような人になり
たいです。現実にはつまらない
ことに腹を立て、そのような自
分に嫌気がさし、同じ間違い
を繰り返す。それでも一歩ずつ
前進できるように頑張ります
(K・S)